

新型コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ
～2020年3月26日（木）17時現在～

在サンパウロ日本国総領事館

1 サンパウロ州

3月26日（木）発表

- 25日（水）現在、州内の感染者は862人、死者は48人。
- 全伯の27州知事は、ボルソナーロ大統領に書簡を發出、零細企業を支援するための資金援助を要請。
- 州政府は、サンパウロ州内各市による新型コロナウイルス対策を支援するため、人口10万人以上の80の市に対する計2億1,800万レアルの資金供与を決定。サンパウロ市への資金供与は27日（金）に発表。30日（月）には人口10万人以下の市に対する資金供与につき発表する。
- 州政府は、ガス供給会社である「ガス・ブラジリアノ」社と協議し、州北西部（ノロエステ）へのガスの供給につき5月末まで継続することに合意。これにより、同地域の一般家庭のみならず病院や工場等に対するガスの供給が確保される。
- サンパウロ市政府は、路上生活者の衛生を確保するため市内中心部（の広場等）に水道蛇口の設置を推進。市社会開発支援局も同生活者の人たちが手洗いでできるよう石鹸を配布する。

2 マット・グロッソ州

3月26日（木）発表

- 26日（木）午後1時半現在、州内の感染疑い者は385人、感染者は11人（クイアバ市：8人、ノヴァ・モンテ・ヴェルジ市：1人、ヴァルゼア・グランデ市：2人）。死者はなし。
- クイアバ市はボルサ・ファミリア（低所得者向けの社会福祉プログラム）の受給家庭の子供たちを支援するため、7千の食料パックを配布。
- 州政府は、社会距離拡大と雇用維持を考慮しつつ、主に以下の対策を発表。
公園、川辺（水浴び等）、劇場、映画館、博物館、ショーやライブハウス、パーティー、フェイラ、ジム、スタジアム、教会のミサ、そのほか人が密集する場所の営業を禁止。全ての公的・民間のイベント禁止。市内の公共交通機関の運行は継続。但し、乗客が座っている状態でのみ運行可。必要な物品輸送を目的とした州内高速道路での車両走行は可。スーパー、パン屋、肉屋、魚屋、レストラン等の食料品を扱う営業活動も可。但し、その場での飲食は禁止、テイクアウトと宅配は可。銀行、治安関係、水道、電力、下水、通信（ネット、電話、コールセンター、郵便等）等の基本サービスは継続。
- 州政府は、マット・グロッソ州砂糖・アルコール産業組合（Sindalcool）に生産を依頼した消毒用アルコール（濃度70%）30万リットルを州立・市立病院、警察署、刑務所、軍警察等に配布中と発表。
- クイアバ市保健局は新型コロナウイルスに関する市民の問い合わせに対応するフリーダイヤルサービス（0800-647-2242）を設置。時間は月曜～金曜の午前8時～午後5時、昼も対応可。

3 マット・グロッソ・ド・スル州

3月26日（木）発表

- 26日午後3時半現在、感染疑いは53人、感染者は25人、死者はなし。
- 州内の刑務所は、病院で必要なアルコールジェル（濃度70%）や、医療用の上着、キャップの生産を開始。
- 州政府、マット・グロッソ・ド・スル・バイオエネルギー生産協会より寄付された5千リットルの70%消毒用アルコールを州内先住民特別衛生区に配布。
- 州政府、対新型コロナウイルスを目的に衛生管理委員会を設置。 (了)